

合意形成研究会 (研究分担者)

阿部 昌樹 (アベ マサキ)



※研究分野：法社会学

※合意形成に関する研究の視点：

多争点 / 多当事者型問題を処理するための合意形成プロセスとそこにおいて規範が果たす役割についての経験的および理論的研究

職名	大阪市立大学大学院法学研究科 教授
略歴	群馬県高崎市生まれ。京都大学大学院法学研究科博士後期課程中途退学。博士(法学)。京都大学法学部助手、大阪市立大学法学部助教授等を経て、現職。
所属学会	日本法社会学会、公共政策学会、自治体学会、Law & Society Association
本研究会における報告	第1回研究会(2015年6月21日)「これまでの研究経過と本研究会において取り組みたい研究・議論」 第2回研究会(2015年10月25日)「法社会学は『合意』をどう扱ってきたのか」
研究業績など	<p>【主要著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿部昌樹『ローカルな法秩序』(勁草書房・2002年)。 ・阿部昌樹『争訟化する地方自治』(勁草書房・2003年)。 <p>【主要論文(2010年以降)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿部昌樹「地方自治への司法介入」和田仁孝・阿部昌樹・船越資晶・檜村志郎編『法の観察』(法律文化社・2014年) 249-269頁。 ・阿部昌樹「自治基本条例のインパクト」大阪市立大学法学雑誌 60巻2号(2014年) 856-814頁。 ・阿部昌樹「法的正義と今ここでの正義」法社会学 78号(2013年) 7-29頁。 ・阿部昌樹「自治基本条例の認知を規定するもの」大阪市立大学法学雑誌 58巻3・4号(2012年) 780-747頁。 ・阿部昌樹「自治体間連携と住民自治—定住自立圏を手がかりに」市政研究 174号(2012年) 38-48頁。 ・阿部昌樹「自治体主導の法変容—日本国籍を持たない者の地方公務員への任用をめぐる」大阪市立大学法学雑誌 57巻2号(2011年) 159-203頁。 ・阿部昌樹「訴訟運動の意義と問題」齋藤純一編『講座人権論の再定位4・人権の実現』(法律文化社・2011年) 27-49頁。 ・阿部昌樹「自治体の訴訟提起—日田訴訟をめぐる—」大阪市立大学法学雑誌 56巻3・4号(2010年) 1-42頁。 ・阿部昌樹「自治体間競争と自治体間連携—日本—」加茂利男・稲継裕昭・永井史男編『自治体間連携の国際比較』(ミネルヴァ書房・2010年) 159-181頁。 ・阿部昌樹「コモンズのルール」法社会学 73号(2010年) 229-245頁。 ・阿部昌樹「専門的支援機関に対する利用者の評価」檜村志郎・武士侯敦編『トラブル経験と相談行動』(東京大学出版会・2010年) 73-97頁。 ・阿部昌樹「大都市制度の構想」都市問題研究平成22年冬号(2010年) 58-89頁。
ホームページ	
連絡先	
備考	